SHARP

シャープ奈良事業所
環境サイトレポート
２０２５

シャープについて

概要

社名　　：シャープ株式会社（Sharp Corporation）
本社所在地：〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
創業者　　：早川徳次
代表者　　：代表取締役 副会長執行役員　　呉 柏 勲
　　代表取締役 社長執行役員CEO　沖津 雅浩
社員数　　：シャープ連結 36,029名
　　（2025年9月末現在）
事業内容　：電気通信機器・電気機器及び電子応用
　　機器全般並びに電子部品の製造・販売等

アクセスマップ

経営理念・経営信条・環境基本理念

経営理念

いたずらに規模のみを追わず、
誠意と独自の技術をもって、
広く世界の文化と福祉の向上に貢献する。
会社に働く人々の能力開発と
生活福祉の向上に努め、
会社の発展と一人一人の
幸せとの一致をはかる。
株主、取引先をはじめ、
全ての協力者との相互繁栄を期す。

経営信条

二意專心
誠意と創意
この二意に溢れる仕事こそ、人々にぬからの満足と
喜びをもたらし真に社会への貢献となる。

誠意は人の道なり、すべての仕事にまごころを
和は力なり、共に信じて結束を
礼儀は美なり、互いに感謝と尊敬を
創意は進歩なり、常に工夫と改善を
勇気は生き甲斐の源なり、進んで取り組め困難に

環境基本理念

誠意と創意をもって『人と地球にやさしい企業』に徹する

トップメッセージ

SHARP Eco Vision 2050 -持続可能な地球環境を目指して-

奈良事業所管掌
スマートビジネスソリューション
事業本部長

日頃よりシャープをご愛顧、ご支援頂いている皆様に心より御礼申し上げます。

近年、気候変動による異常気象や自然災害が世界各地で頻発し、生活や経済、生態系に深刻な影響を及ぼしています。持続可能な未来のため、地球の恩恵を受けて事業を営む企業として責任ある取り組みが不可欠です。

このような課題に対して、当社では長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」を掲げ、2050年までにサプライチェーン全体のCO_2排出量ネットゼロを目指しており、その一環として、2025年2月に事業活動のエネルギーを全て再生可能エネルギーで調達する国際イニシアチブ「RE100」にシャープとして新たに加盟しました。引き続き事業活動を通じて環境問題、社会課題の解決に努めて参ります。

このサイトレポートを通じ、当事業所の取組みや活動をご理解いただければ幸いです。今後とも皆様方のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

＜奈良事業所＞主な開発・生産製品①

奈良事業所では、BtoB事業を中心に多岐にわたる製品の企画・開発・生産を行っています。

カラー電子ペーパーディスプレイ
<EP-CA22>

デジタルフルカラー複合機
<BP-71C26>

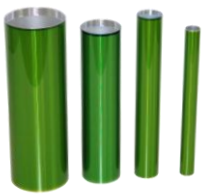
デジタルフルカラー複合機
<BP-C131WD>

多機能サーバー
<BP-SB10>

議事録作成支援ソリューション
eAssistant Minutes

光触媒スプレー
<BP-PC01AU><BP-PC01BV>

複合機トナー



複合機 感光体ドラム

奈良事業所について

概要

所在地　：〒639-1186
　　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地
事業開始：1959年
勤務体制：普通勤務 及び 交替勤務
従業員数：1,830名（2025年11月現在）
敷地面積：104,320㎡（寮、社宅除く）

アクセスマップ

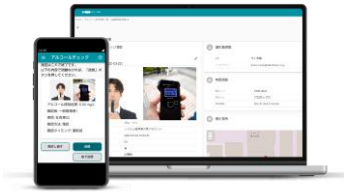
＜奈良事業所＞主な開発・生産製品②

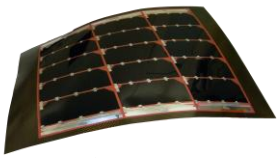
駐車場向けソリューション

ガソリンスタンド向け
POSシステム

POSシステム

スリムスタッカー・ロボットストレージシステム


アルコールチェック管理サービス
スリーゼロ


薄膜化合物太陽電池セル
アレイシート

スマートビジネスソリューション事業本部　品質・環境方針

【品質ビジョン】
世界のお客様に良いと認識して頂ける品質へ
・業界TOPレベルの品質［**G**lobal **Q**uality **I**nnovation］
・業界TOPレベルのCS　［**G**lobal **S**ervice **I**nnovation］
【品質戦略】
・お客様の期待に応える/超える品質を実現
故障率低減
品質イメージ向上
・グローバルブランドに相応しい品質対応の実行
守りの品質１）と攻めの品質２）のバランス最適化
１）壊れる等のマイナス要素を減らす取組を継続
２）使い易さ、品位等のプラス要素を増やす取組の強化

【環境ビジョン】
シャープ長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」の実現を目指して
・企業活動で生じる地球への環境負荷の最小化
【環境戦略】
・サプライチェーン全体での環境負荷を低減
・「最小限の資源」で「最大限の価値」を継続的に提供
・「化学物質が人の健康や地球環境・生態系に及ぼす影響」を排除
・社会やステークホルダーと情報の相互共有

上記の内容を実現するために、以下の取組み方針を定め実行する。

1．絶対安心製品の創出
長期にわたり安心してご使用いただける商品創り

2．長期信頼性、設計完成度の向上
お客さまに信頼され、支持される商品創り

3．調達部品の品質確保
部品品質向上により、信頼性の高い商品創り

4．量産品質の向上
量産品質向上による顧客満足度の向上

5．顧客満足度の向上
市場品質の見える化を図り、日々の情報を共有化し顧客優先の市場対応の実施

6．気候変動を含む環境に配慮した事業活動の推進
(1)環境配慮型商品の創出を通じ、環境貢献の拡大を図る。
(2)持続可能な技術開発及び日常の事業活動を通じ、環境負荷の削減に努める。
(3)環境社会貢献活動の積極的展開を図る。
(4)事業所周辺地域との協調と共生を図り、自然環境の汚染の防止に努める。
(5)環境資源の有効利用を図り、資源の枯渇防止に努める。

7．法的要求事項の順守
事業活動、並びにこの活動を通じて生産する製品に適用される法規制を順守する。

この方針を実現する為、期毎に事業本部目標を設定し、部門目標に展開・設定し、関係部門が連携し、達成に向け取組む。

2025年4月1日
シャープ株式会社
スマートビジネスソリューション事業本部長
徳山　満

環境取組み

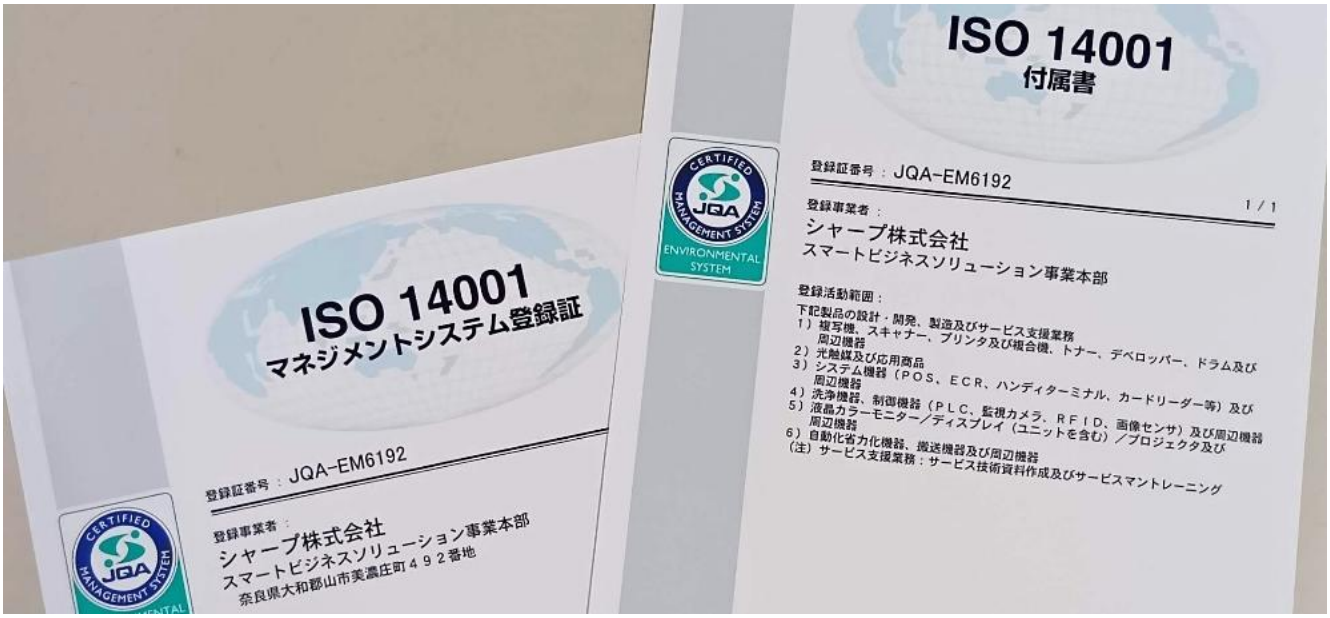
環境に関する目標と取組み結果（２０２４年度）

環境に関する取組み目標を設定し、達成に向け活動を推進しましたが、工場の稼働が上向きに推移する中「廃棄物排出量の削減」という目標に関しては、わずかながら届きませんでした。しかし、廃棄物を資源に変える有価物化への取組みは着実に進んでおり、引き続き積極的な施策の展開を図ってまいります。

活動範囲	目標	期	目標値		取組み実績	評価
環境負荷低減の取組み	エネルギー使用量の削減	上期	当期 エネルギー消費原単位	1.0%改善	3.4%改善（削減量：▼611千kWh）	○
		下期			4.3%改善（削減量：▼520千kWh）	○
	廃棄物排出量の削減	上期	当期 総排出物量における有価物化率	53.5%	56.6%（有価物量：155t）	○
		下期		54.0%	53.8%（有価物量：187t）	×
社会への働きかけ	社会貢献活動の実施	上期	活動の実施及び企画推進	3件	3件	○
		下期		2件	2件	○

環境マネジメントシステムの推進

奈良事業所では、スマートビジネスソリューション事業本部傘下の部門が実施する事業活動において、効果的な運用と継続的な改善を図るため『環境マネジメントシステム』を運用し、ISO（ISO14001：2015）の認証を取得しています。



環境法規制の遵守

環境法規制値に対し、全てクリアする結果となっております。

有害物質（大気濃度）測定

項目	単位	規制値		実績（最大値）	評価
		協定値	自主管理値		
フッ化水素	ppm	0.6以下	0.06以下	0.01未満	◎
塩化水素	ppm	1.0以下	0.1以下	0.01	◎
アンモニア	ppm	5.0以下	0.5以下	0.02	◎
メタノール	ppm	40.0以下	4.0以下	0.05未満	◎
トルエン	ppm	10.0以下	1.0以下	0.05未満	◎

（評価基準：◎自主管理基準値遵守／○協定値遵守／×未遵守）

煙突から出る排ガス測定

項目	単位	規制値		実績（最大値）	評価
		協定値	自主管理値		
ばいじん	g/Nm^3	0.1以下	0.05以下	0.001未満	◎
窒素酸化物	ppm	130以下	98以下	53	◎

（評価基準：◎自主管理基準値遵守／○協定値遵守／×未遵守）

騒音・振動測定

項目	時間帯	単位	法規制値	実績（最大値）	評価
騒音	朝	dB	50以下	50	○
	昼	dB	60以下	50	○
	夕	dB	50以下	48	○
	夜	dB	45以下	44	○
振動	昼	dB	60以下	25未満	○
	夜	dB	55以下	25未満	○

（評価基準：○法規制値遵守／×未遵守）

下水排出 水質測定

項目	単位	規制値		実績（最大値）	評価
		法規制値	自主管理値		
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/L	600以下	180以下	110	◎
pH(水素ｲｵﾝ濃度)	—	5.0～9.0	6.0～8.0	7.2～7.5	◎
SS(浮遊物質量)	mg/L	600以下	180以下	72	◎
n-ﾍｷｻﾝ抽出物質動植物油類	mg/L	30 以下	15 以下	8.8	◎
T-N(全窒素)	mg/L	240 以下	48 以下	27	◎
T-P(全ﾘﾝ)	mg/L	32 以下	6.4 以下	3.2	◎

（評価基準：◎自主管理基準値遵守／○法規制値遵守／×未遵守）

環境マテリアルバランス　＜インプット-アウトプット＞

＜インプット＞

電力量	31,803千kWh／年

奈良事業所で使用する電力使用量の約70％は、生産工場の稼働（生産設備・冷凍機・圧縮エアー供給設備等）に使用されます。また1か月当たりの電力使用量は約2,650千kWhとなり一般家庭(325.9kWh/月)で およそ8,100世帯分の電力消費量に相当します。

都市ガス量	114千m^3／年

都市ガスはボイラー燃料として使用しております。ボイラーでは蒸気を作り出し、室内の温度と湿度管理（暖房等）に使用しています。

水道水量	39千m^3／年

工場では1日当たり約100m^3の水道水を使用します。用途は生活用水の他、生産用途で使用する為に純水製造設備で不純物を取り除き、純水として生産工場に供給しています。純水は主に製品の洗浄に使用されます。

井戸水量	71千m^3／年

敷地内にある地下水を汲み上げる井戸設備では1日約200m^3を揚水し、主にトイレの洗浄水や生産設備の間接冷却水として活用しております。

＜アウトプット＞

CO_2排出量	13,639 t-CO_2／年

当事業所におけるエネルギー起源の二酸化炭素は電力及び LNG LPGなどがあります。中でも電力使用における二酸化炭素の排出量はエネルギー使用量全体の約98%と最も多く占めていることから、電力使用量の削減を主軸に様々な施策を講じ、CO_2排出抑制に努めています。

排出水量	96千m^3／年

工場で使用された洗浄排水（純水）やトイレ・手洗い・排水食堂等の福利厚生施設からの一般生活排水など、事業所から排出される水は全て公共下水道へ排出しています。

産業廃棄物排出量 (有価物排出量)	276t／年 (342t／年)

産業廃棄物は、きっちりと分別を行えばリサイクルできる物が多く含まれます。日頃から従業員へ分別回収を徹底すると共に、排出物の利用価値向上の為、有価物化を推進しています。

ＰＲＴＲ対象化学物質 (環境への排出)	470kg／年

奈良事業所で使用するPRTR対象化学物質として、マンガンとテトラヒドロフランがありました。引き続き使用量及び排出量の低減に努めて参ります。

事業活動による年間の環境負荷（使用したもの・排出したもの）をまとめております。

社会活動の取組み

郡山城跡『桜』保存会

日本さくら名所100選にも選ばれている郡山城跡の桜の保護を目的に【郡山城跡『桜』保存会】が2011年に設立されており、桜を後世に受け継ぐ為の取組みなどが行われています。奈良事業所では保存会設立時から活動に参画し、2024年度は7月と翌3月の清掃活動に計44名が参加しました。

集合写真

事業所周辺の一斉清掃

奈良事業所では、定期的に事業所周辺の清掃活動を行っております。2024年度は8月と12月に活動を行い、朝夕の始業前、始業後に計35名の従業員が参加し、ゴミ袋で20袋分を回収しました。

活動風景

ひとの願いの、半歩先。

SHARP

発行：シャープ株式会社

■お問い合わせ先■
〒６３９－１１８６　奈良県大和郡山市美濃庄町４９２番地
シャープ株式会社　スマートビジネスソリューション事業本部　経営管理統轄部　ＵＴＴサービス部
０７４３－５３－５５２１（代表）

発行日：2025年12月